

6月8日(金) 研究発表会

## 「学ぶこと」と「生きること」をつなぐ「ものがたり」

— 主体×主体の関係が生み出す深い学びをめざして —

6月8日(金)、平成30年度附属坂出中学校教育研究発表会が、晴天のもと盛大に行われました。当日は、県内外の幼・小・中・高・大学および教育関係機関などより700名を超える参会者をお迎えし、本校の研究実践をご覧いただくとともに、全国にその意義と歩みを発信することができました。今回の研究では、「ものがたり」の授業による深い学びをめざして、特に「深い学びを生み出すための問いのあり方」と「聴き手を育てる教師のかかわり方」について提案しました。

### 総合学習 CAN の発表



### 公開授業 (教科)



【家庭科】



【社会科】



【技術科】



【数学科】



【美術科】



【保健体育科】

### 講演

上智大学総合人間科学部教授の奈須正裕先生には『『ものがたり』による学びの変革とこれからの学校教育—情報の伝達から意味の形成支援へ—』という演題でご講演いただきました。一人ひとりがインフォーマルな知識や経験にもとづいて具体・特殊・個別な文脈から対話する中で、抽象・一般・普遍へと到達する学びこそが確かな学びになることを、本校研究にそって具体例をあげながらわかりやすくご提案いただきました。



### 研究大会を振り返って・・・

各教科等の研究協議会やアンケートでは、参観者の方々から本校の研究実践について多くの賛同の声が寄せられました。また、生徒たちが自ら主体的に学び、語り合い、応じる姿にも高い評価をいただきました。これも本校生徒一人ひとりの頑張り、各校園の諸先生方、そして保護者の皆様方のご協力があったることと深く感謝しております。そして、今大会の成果と課題も踏まえ、今後も本校の研究実践を全国に発信していきたいと思っております。